

町のシンボルが決定しました

那珂川町誕生2周年にあたり、町のシンボル（町花、町木、町鳥）の発表と町民憲章の制定披露並びに町自治功労者表彰式典が10月20日、小川総合福祉センターあじさいホールで町民や関係者約170人が出席し、開催されました。

このシンボルは、町内外から公募された167件の中から行政区長や各種団体の代表者ら20人で組織する町シンボル選考委員会（鈴木紀六会長）により選定されたものです。



町花『かたくり』

早春に薄紫色の花を咲かせます。小さな花1つ1つが控えめな中にも美しく、群生する様は見る者に感動を与えることから、協働のまちづくりを目指す那珂川町のシンボルとしてふさわしい花です。
三輪地区に県内1を誇る群生地があります。



町木『まつ』

常緑樹として周年、緑葉を茂らせることから、若さ、不老長寿の象徴とされ、厳しい環境の中でもたくましく根を張り、力強く勇壮な姿は、活力あるまちづくりを目指す那珂川町のシンボルとしてふさわしい木です。



町鳥『うぐいす』

別名「春告鳥はるつげどり」と言われ、春の先駆けとして山里に賑わいと人々に希望や喜びを与えてくれます。その姿と里山にこだまする美しい鳴き声は、自然豊かな美しいまちづくりを目指す那珂川町のシンボルとしてふさわしい鳥です。



那珂川町民憲章

那珂川町は、清流那珂川と緑豊かな里山に抱かれ、美しい自然と歴史や文化が調和した町です。

わたくしたちは、那珂川町民であることに誇りを持ち、やさしさと活力に満ちたまちづくりを目指し、ここに町民憲章を定めます。

一、自然を愛し

やすらぎのあるまちをつくります

一、教養を深め

文化のかおり高いまちをつくります

一、仕事に励み

活力のあるまちをつくります

一、スポーツに親しみ

健康で明るいまちをつくります

一、互いに助け合い

あたたかいまちをつくります

那珂川町自治功労表彰者（敬称略）

岡 忠一	(盛 泉)	前収入役、旧馬頭町助役
高野 正夫	(健 武)	前馬頭財産区議会議員
磯野 良一	(北向田)	前武茂財産区議会議員
小林 一夫	(北向田)	前武茂財産区議会議員
小室 和雄	(大 内)	前大内財産区議会議員
大金 章	(大 内)	前大内財産区議会議員
平塚 興樹	(盛 泉)	前大内財産区議会議員
齋藤 和雄	(小 川)	前農業委員会委員
三尾谷武重	(白 久)	前農業委員会委員
藤田 正一	(小 口)	前消防団団長
齋藤 健次	(芳 井)	前消防団副団長
渡辺 福夫	(和 見)	前事務連絡補助員
橋本 富雄	(薬 利)	前水道検針員

那須小川まほろば太鼓保存会

感謝状贈呈者（敬称略）

株式会社 馬頭むらおこしセンター

愛荘町と姉妹都市提携

姉妹都市、災害時相互応援協定を締結

10月10日、馬頭総合福祉センターで滋賀県愛荘町と姉妹都市の提携並びに災害時相互応援の協定を結びました。

愛荘町との関係は、旧馬頭町が昭和55年に開催された「栃の葉国体」で、また、翌年開催の「びわこ国体」で、旧秦荘町がそれぞれアーチェリー競技の会場となり、その縁で昭和56年、姉妹都市提携を結びました。その後、両町のスポーツ少年団や青年団、消防団、町議会などが交流を深め、20年以上にわたり、幅広い分野で信頼と友情を培ってきました。

両町は、それぞれ合併し、新たな町が誕生するなど、環境は大きく変化しましたが、今後も交流を継承することとなり、姉妹都市提携とあわせて、災害時相互応援協定を締結するに至りました。



川崎和郎町長は「地域で生まれ、守られてきた伝統文化や風習、行政施策などお互いの地域には無い魅力的なものを交流によって理解し、活用しあえるのは大きなメリットになるものと確信しています」とあいさつ。これを受けて、愛荘町の村西俊雄町長は「本日を機に交流の輪を広げ、町民同士の交流を原点到、さらに関係を深めることにより、長く良いお付き合いになることを願うものです」などあいさつしました。

調印式では川崎町長をはじめ、村西愛荘町長、杉本議会議長、珠久愛荘町議会議長が、盟約書に署名しました。その後、約150人の出席者が見守る中、盟約書を交換し、4人で固い握手を交わしました。また、大規模災害時において物資の供給など、相互の応援体制を確立することを目的に、災害時相互応援協定を締結しました。

姉妹都市提携を記念して那珂川町から「小砂焼」が、愛荘町から「びん細工てまり」の工芸品が記念品として贈られました。

旧秦荘町との姉妹都市交流の歴史

- 昭和56年 6月 姉妹都市提携盟約式
- 昭和57年 8月 秦荘町スポーツ少年団46名来町
- 昭和58年 8月 馬頭町スポーツ少年団52名秦荘町へ
- 昭和59年 3月 秦荘町青年団15名来町
- 昭和62年11月 馬頭町消防団9名秦荘町へ
- 昭和63年11月 秦荘町消防団9名来町
- 平成 2年 2月 秦荘町老人クラブ8名来町
- 平成 3年11月 馬頭町老人クラブ18名秦荘町へ
- 平成 5年 8月 秦荘町スポーツ少年団58名来町
- 平成 7年11月 秦荘町文化協会20名来町
- 平成10年 5月 馬頭町消防団9名秦荘町へ
- 平成10年 9月 秦荘町議会13名来町
- 平成10年 9月 馬頭町議会22名秦荘町へ
- 平成13年10月 秦荘町・馬頭町議員交流研修(議員他14名)来町
- 平成14年 4月 馬頭町広重美術館所蔵浮世絵展
- 平成14年10月~12月 (秦荘町歴史文化資料館にて開催)
- 平成15年11月 馬頭町消防団秦荘町へ
- 平成16年 8月 秦荘町・馬頭町議員交流研修(議員他15名)来町
- 平成16年10月 馬頭町議会視察研修18名秦荘町へ



滋賀県愛知郡 愛荘町

滋賀県の中央部に位置し、東西約13km、南北約6.9km、総面積37.95km²。鈴鹿の山麓から西に広がる洪積丘陵と扇状地が湖東平野の一部を形成し、南には1級河川愛知川、中央部には1級河川宇曾川や岩倉川が流れ、古くから水と関わりが深く、田畑が全体の約4割を占めます。

平成18年2月に秦荘町と愛知川町が合併し、愛荘町が誕生しました。